

えがおふれあいだかめあい きらい かがやく あざ二っ子

横浜市立あざみ野第二小学校
学校だより 9月号

第6号 令和6年8月30日発行

学校だよりはホームページにも掲載されています。
学校日記も更新中です。ぜひご覧ください。

青葉区あざみ野三丁目29番地3
TEL 045-902-4866



あいさつは コミュニケーションの第一歩

校長 大幸 麻理

8月27日、子ども達が学校に戻ってきました。子ども達一人ひとりそれぞれに長い夏休みを過ごしたことを思いませんが、大きな事故等にも遭わず元気にこの日を迎えられたことを何よりと思います。

この夏は、オリンピックでの日本選手の活躍に大きく盛り上がりました。メダル獲得の感動はもちろん大きかったですが、惜しくもメダルに届かなかった選手たちの多くも、インタビューの中で、「また4年後のオリンピックに向けて頑張ります」と話しており、大きな大会が終わった直後に次の目標を自身の中で見据えているその精神力の強さにむしろ感動しました。人は「思い」の強さで、自身に内在されている力や可能性が高められ発揮されるのだなあと改めて感じました。子ども達の中でも、この夏、スポーツや様々なことに取り組み、頑張った子ども達があります。全校児童に紹介できる機会をつくっていきたいと思います。

さて、本校では毎月、生活目標とともに、「あいさつ目標」があり、毎月、その月の担当の子ども達が全校児童に向けて意識づけをしています。「大きな声であいさつをしよう」「笑顔であいさつをしよう」「自分からあいさつをしよう」などです。毎朝、登校してくる子ども達を正門で迎えています。子ども達の様子は様々です。こちらから「おはようございます」と言うと、「おはようございます！」ととても大きな声で返してくれる児童、声は小さいけれど、ちゃんと返してくる児童、軽く会釈をして挨拶する児童、中には少し離れたところから元気な声で「おはようございます！」と自分から挨拶できる児童もいます。もちろん全員がしっかり挨拶ができるわけではないですが、挨拶をするといいいことがあるよ、と大人が教えてあげる必要があると思います。挨拶一つがその人の印象を良くし、良い関係を築くきっかけになることもあります。子どもは大人の背中を見て育つと言います。まずは大人が挨拶の良さや大切さを自身の姿で見せることが大事だと思い、毎朝元気に子ども達に声をかけています。にっこり笑顔で挨拶を返してくれる児童も増えてきました。

「たかがあいさつ されどあいさつ」

あいさつする良さを理解するだけでなく、実践できる力を育てていきたいと思っています。

タブレット端末の持ち帰りについてご協力をお願いします

7月12日にすぐーるにて配信しました通り、本校では夏休みに入るタイミングでタブレット端末の持ち帰りを開始しました。子ども達にとって教科書やノート同様に日常の学習用具として子ども達が主体的にタブレット端末を活用した学習を家庭においても行えるようにすることが目的です。学校でも、家庭においてのタブレット学習をどのように進めていくかについて研究しています。各ご家庭でも子ども達のタブレットを活用した学習について、お子様と一緒に進めていただければ大変ありがたく思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。